

デジタル版 すいせん図書 第215回 平成24年7月

この図書は全国学校図書館協議会の速報版等を参考にして選定したものです。  
このすいせん図書は長野県優良図書研究所であっせんしますので、ご利用ください。

★ すいせん図書 その1 ★

小学校低学年(1・2年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
イチゴがいっぱい (わくわくえどうわ)	竹内もと代(作) 小泉るみ子(絵) 文研出版 2012年1月 1,260円	せつこおばちゃんの畑でイチゴ作りを始めたさつき。近所の将太は苗が小さいことをいつもばかにしているが、実際は雪よけや小鳥よけのネットを作ってくれる優しい少年だ。イチゴ収穫までの2人の心の交流がほほえましく伝わってくる。 71p・22cm・913
ええところ	くすのきしげのり(作) ふるしょうようこ(絵) 学研教育出版 2012年1月 1,365円	自分に自信が持てないあいちゃんは「わたしっていいところひとつもないなあ。」とともちゃんに言うと、「みんなに優しいのが一番いいところ。」と言われます。友だちの良さをみつけたり、自分の良さって何だろうと考えたり、心が元気になるお話。 1冊・25cm・913
いたいのいたいのとんでゆけ (ひまわりえほんシリーズ)	新井悦子(作) 野村たかあき(絵) 鈴木出版 2012年1月 1,260円	「いたいのいたいのとんでゆけ、おやまのおににとんでゆけ。」そんなものをとばされては、何も悪いことをしていないのにおにはたまりません。けれど、痛みを分け合い幸せを与え合うおにとさよとばあさま。優しさやあたたかさが伝わる一冊です。 1冊・27cm・913
ふくしまからきた子 (えほんのぼうけん)	松本猛(作) 松本春野(作・絵) 岩崎書店 2012年3月 1,365円	サッカーが大好きな男の子とふくしまから来た女の子。サッカーボールから始まった交流が広島原爆と福島原発事故の被爆四世と原発被害者という立ち場をめぐり出していきます。これから生きる人たちに歴史から学び、未来を考える大切さを問いかける本です。 1冊・22×25cm・913
えんまのはいしゃ	くすのきしげのり(作) 二見正直(絵) 偕成社 2011年11月 1,260円	じごくの えんまさまや おにたちも むしばになるんですね。なおすように えんまさまに めいれいされたのは、なんと なまけもの ほらふき はいしゃ。どんな ちりょうを するのでしょう。はいしゃは どうなったのか よんでみてね。 32p・25cm・726

小学校中学年(3・4年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評  ページ数・規格・NDC
ちっこばあばの泣いた夜	福 明子(作) ふりやかよこ(絵) 新日本出版社 2012年1月 1,470円	重い病気にかかっているちっこばあば。でも、そのちっこばあばの「えらかったですね。」という時の笑顔が「つかれて、ぼく、もう、死んじやいたい。」と口にするシュウちゃんに、「ぼく、もうだいじょうぶ。」と力をくれます。何があったのでしょうか。  101p・22cm・913
命がこぼれおちる前に—收容された犬猫の命をつなぐ人びと (感動ノンフィクションシリーズ)	今西乃子(作) 浜田一男(写真) 佼成出版社 2012年4月 1,575円	飼い犬や飼い猫が捨てられる。「その捨てられた命を救いたい。」の思いで、行き場を失った犬や猫の飼い主さのボランティアしている雅美さんたち。「命を捨てるのも人間。命を救うのも人間。」と言っている本当の意味を考えてみませんか。  128p・22cm・480
ぼくとおじちゃんとハルの森	山末やすえ(作) 大野八生(画) くもん出版 2012年3月 1,260円	仲良しの周ちゃんが転校して友だちのできない輝夫。急に仕事をやめて山小屋で暮し始めるモリおじちゃんと夏休み一緒に生活します。そこで出会った犬のハルと「輝ちゃんはおじちゃんの大親友だ」と言ってくれたおじちゃんとの交流で、輝ちゃんは…。  123p・20cm・913
ツチノコ温泉へようこそ (福音館創作童話シリーズ)	中山聖子(作) 保光敏将(絵) 福音館書店 2011年11月 1,260円	ツチノコらしき生き物を見た周一たち。新聞の取材を受けたり、テレビの出演依頼があったり、話はどんどん広まっていきます。そんな中、「どうして、こうなってしまうんだろう。」とお父さんとの関係に悩む周一です。二人の心は通じあえるのでしょうか。  155p・21cm・913
お父ちゃんの音や! (文研じゅべに一る)	大野圭子(作) 古味正康(絵) 文研出版 2012年5月 1,365円	思ったことをずけずけ言える転校生の耕太と口に出せない淳。二人は明石の玉子焼きを食べるために一緒に出かけることになる。そこで耕太は思いがけない事を淳に打ち明けるのだった。明るい関西弁がはじけ、明石の玉子焼きを食べてみたくになります。  159p・22cm・913

小学校高学年(5・6年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評  ページ数・規格・NDC
糸子の体重計	いとうみく(作) 佐藤真紀子(絵) 童心社 2012年4月 1,470円	小学5年生の細川糸子は、おいしいものを食べることが大好きな元気少女。おいしいものを食べるだけで幸せと思える、明るくまっすぐな糸子が、クラスメートをまきこみながら、生き方や考え方までポジティブに変えていく物語。テンポもいい。  255p・20cm・913
名犬チロリ～日本初のセラピードッグになった捨て犬の物語 (ノンフィクション・生きるチカラ9)	大木トオル(作) 岩崎書店 2011年12月 1,365円	捨て犬だったチロリが人間につらい思いをさせられたにも関わらず、やさしい笑顔と深い思いやりで、弱った人間の心をいやすセラピードッグとして活躍します。がんばることの大切さ、人の役に立つことの喜びなどを感じさせてくれる本です。  143p・22cm・645
すごいぞ!「しんかい6500」 —地球の中の宇宙、深海を探る	山本省三(作) 友永たろ(絵) くもん出版 2012年4月 1,470円	日の光も届かない6500mの海底までもぐれる日本の有人潜水調査船「しんかい6500」。様々な困難を解決して完成した世界トップクラスの「しんかい」が海底の謎を解き明かしてくれる。話題のハイドレード等、最新の情報もあり、わくわくする一冊。  127p・22cm・645
とびらの向こうに (物語の王国II-3)	かんのゆうこ(作) みやこしあきこ(絵) 岩崎書店 2011年11月 1,365円	突然ピアノのレッスンをやめてしまった彰に届いた不思議な手紙をはじめ、春夏秋冬のそれぞれの季節ごとに小学6年生の少年少女たちが、さまざまな不思議に出会い成長していく短編連作集。それぞれの登場人物のゆれ動く思いや悩みが生き生きと伝わってくる。  189p・22cm・913
転校生は忍びのつかい	加部鈴子(作) 平澤朋子(絵) 岩崎書店 2012年3月 1,365円	夏休み直前に突然転校してきた宗助とひよんなことから親しくなった浩太。宗助と修行しながら体だけでなく心も強くなり、二人の間に友情が生まれる。しかし、任務を果たしたら、宗助との記憶は全て消し去られてしまう。心に小さく光る物を残して。  159p・22cm・913
ピアスの星	赤羽じゅんこ(作) tamao(画) くもん出版 2011年12月 1,470円	昔も今も、クラスの人間関係がうまくいかず、傷ついてしまう子はたくさんいる。そのつまずきはマイナスでなく何かの一步につながる。ハミと不登校になってしまったサヤはそれぞれ悩み、葛藤しながら、お互いに支えあうことで、勇気を出し一歩ふみ出すことができた。  187p・20cm・913

中学生向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評  ページ数・規格・NDC
スウィング!	横沢 彰(作) 五十嵐大介(絵) 童心社 2011年11月 1,470円	野球部で中学3年の直。最後の大会を目前にして、亡父の残した田んぼを耕すことも決意する。自主練のかたわら思うように動かない耕運機との格闘。父の声や手伝ってくれる人々の支えを受け挑戦していく直。人のあたたかさ、絆を改めて感じさせる。  187p・20cm・913
願かけネコの日 (ティーンズ文学館)	那須田淳(作) 学研教育出版  2011年12月 1,260円	不慮の事故で死んだコースケだが、直前に正しい作法で願かけをしたために127時間44分の猶予を与えられる。脱衣婆のだっちゃんに助けられながら、厳正でのこしたことに取り組むコースケ。だっちゃん自身も救われるのがうれしい。  205p・20cm・913
いつか蝶になる日まで	小森香折(作) 柴田純与(絵) 偕成社 2012年4月 1,260円	「携帯のこと、カバ嶋に告げ口したでしょ。」と紅子に言われた後の友だちのよそよそしさや、鏡の国の悪魔の「おまえがおさえつけてきた怒り、恐怖…から生まれてきたんだ。」の言葉などから、等身大の自分と重ね合わせながら一気に読むことができる。  214p・20cm・913
もえろっ!卓球部	横沢 彰(作) 小松良佳(絵) 新日本出版社 2011年12月 1,575円	平易な文章で、読書が苦手な生徒でも読み易い。内容も読み手の中学生の日常生活に重なる部分が多く、共感しながら読み進められる。特に純太と大我の心の交錯には、考えさせられる内容が多く、人間関係に悩むことの多い中学生には必読の書。  173p・20cm・913
新版 死の川とたたかう (偕成社文庫)	八田清信(作) 偕成社  2012年4月 840円	イタイタイ病は、四大公害病の一つとして知られている。だが、その名前は知っていても実際に病に苦しんだ人々のつらさを私たちは知らない。住民の命を守るために戦った萩野博士の生き様を知るとは、読者に自身の生き方をも再考させる。  262p・19cm・916

★学習図書★

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評  ページ数・規格・NDC・教科
図解絵本 東京スカイツリー	モリナガ・ヨウ(作)  ポプラ社 2012年3月 1,500円	修学旅行で予定見学地に入ってくると思われるので事前学習に最適。イラストも細かなところまでわかりやすく描かれており、温かみのあるタッチ、色づかいで好感がもてる。飛び出すしかけページも迫力があって面白い企画である。  52p・31cm・526
トチの木の1年 (ランドセルボックス)	太田 威(作) 福音館書店 2012年1月 1,260円	トチの花のハチミツ・トチもち・トチの葉でつまれたイワナの新巻。大昔から人間は、トチの木の葉や実を利用し、恵みを受けて暮らしてきたことが、四季折々の美しい写真とともに語られています。  32p・24cm・479
竹細工	畑野栄三(作) 全国郷土玩具館(監修) 文溪堂 2012年3月 1,680円	日本各地やアジアで伝承されているいろいろな竹細工のおもちゃや、竹とんぼなどの作り方が紹介されています。竹細工は、ざるや籠など生活の道具にも使われ、先人たちの知恵や技の素晴らしさを知ることができます。  32p・26cm・754
算数がたのしくなるおはなし	桜井進(作)  PHP研究所 2012年3月 1,365円	「紙を何回折ったら、月に行ける？」この答えが、たった42回……。このように、算数クイズ、数の大ぼうけん、数学者の物語の三章でなり、子どもにも先生にも手軽に読める一冊です。ワクワクする数の世界や不思議と出会えます。  126p・21cm・410
江戸の怪談絵事典	近藤雅樹(監修)  PHP研究所 2012年4月 2,940円	妖怪たちを当時の浮世絵や絵画を通して知ることができる面白い資料である。コラムやマメ知識コーナーも、怪談を楽しむために一役かっている。価格が比較的高いので個人で購入するより図書館で読むことができればありがたいのではないかな。  63p・29cm・388